

発言 No. 4

受付 No. 4

令和 3 年 2 月 15 日
10 時 34 分 受付

会 派 代 表 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番 会派 公明クラブ
氏名 柳 楽 真智子

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 活力ある産業を育て雇用をつくるまちについて

(1) 持続可能な事業者支援について

- ① コロナ禍の中で収益が減少している事業者からは、固定資産税の支払いが大変なので何とかしてほしいとの声もあります。何らかの対応ができないか伺います。

(2) 労働者協同組合について

- ① 介護や障がい福祉・子育て支援・地域づくり・若者・困窮者支援など幅広い分野で、様々なニーズへの対応が求められる反面、その担い手不足が心配されています。そのような中、組合員が出資し、それぞれの意見を反映しながら組合の事業に従事して経営も担う「労働者協同組合法」が法制化されました。多様な労働機会の創出や、地域課題に応じた事業を実施して、持続可能な地域の構築を目指すために、この組合の理解や推進を図ることは大変重要だと考えます。浜田市におけるこの事業の可能性について伺います。

2. 健康でいきいきと暮らせるまちについて

(1) 子どもを安心して産み育てる環境について

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、国では「支援対象児童等見守り強化事業」の取組が進められています。この事業は要保護児童対策地域協議会が中核となり、子ども食堂等の民間団体を含む様々なネットワークを活用し、支援の必要な子ども等を見守り、適切な支援につなげる体制の強化を行うという事業です。補助率が10分の10で、民間団体等のスタッフの人件費や訪問経費など、事業実施に係る経費が対象となっていますが、浜田市での活用状況と今後の取組について伺います。
- ② 多胎児を妊娠した妊婦は、単体妊娠よりも妊婦健康診査を多く受診することが推奨されています。そのため通常14回の検査費用補助がありますが、それ以上の検診を受けることが多いことから、多胎妊婦の負担軽減を図るために補助の拡大を行えないか伺います。
- ③ 学校支援員の配置について重点的に予算措置を行うとのことですが、保育の現場においても配慮や支援の必要な子供は増えており、加算はあるもののそれ以上の人員配置が必要となっています。子どもたちに支援の手が行き届くよう、保育事業者に補助を行うことは考えられないか伺います。

(2) 高齢者福祉の充実について

- ① 「敬老入浴券贈呈事業」は利用対象者を拡大し、新たに「敬老入浴券交付事業」とされるとのことですが、これまでも指摘されていた、自力での移動手段がない方に対する支援が必要と考えます。移動手段確保はどのように考えられているのか伺います。

(3) 障がい者福祉と地域福祉の充実について

- ① 障がい者の重度化や高齢化、また「親亡き後」を見据え、居住支援の機能構築について、当市では「多面的整備」に取り組んでいると認識しております。取組の進捗状況と今後のさらなる制度構築について伺います。

② 障がい者の生活を地域全体で支える「地域生活拠点」等の体制整備を行い、障がい者へのサービス提供体制の強化が必要と考えますが、ご所見を伺います。

③ 自治会や公民館、高齢者クラブなど様々な団体が利用している福祉バスは、現在２台での運営であるため利用しづらいとの声を聞いています。運営は社会福祉協議会が行われていますが、今後数年のうちには車両が老朽化し、更新時期が来るものと考えれば、現状の運営が継続できるのか不安に感じております。市民の研修や外出の機会の確保の観点からも、重要な役割を果たしている福祉バスの存続について、委託にするなどの対応が必要ではないかと考えますが、今後の対応策について伺います。

(４) 医療体制の充実と健康づくり・介護予防の充実について

① 浜田市では新型コロナウイルス感染症の感染拡大は抑えられていますが、今後、クラスター発生などにより感染者が増加した場合の病床の確保や、ワクチン接種に関わる医療従事者の確保は見込まれているのか伺います。また、看護師が不足する事態が発生した時のために、退職者の協力体制を考えておくことも必要ではないかと考えますが、ご所見を伺います。

② ウイルスの感染リスクを低減するために、免疫力を高めることが有効であると言われています。感染を抑えるために免疫力を上げる食事や運動などについて、市民の皆様への周知をどのように行われているか伺います。

③ コロナ禍の中、経済活動や社会生活に大きな影響が生じ、自死の件数が増加しています。自死のリスクを抱える方に対する対面や電話、SNSを活用した相談支援体制の強化や、相談に対応する人材の確保・育成が重要です。また、リスクを抱える方の家族に対する支援も大切ですが、浜田市としてどのような対応がされており、今後の対応強化策について伺います。

3. 災害に強いまちづくりについて

(1) 避難行動支援について

- ① 去年はコロナ禍の中、防災訓練も各地域では行えませんでした。このような時だからこそ、個人や家族の避難行動計画（マイタイムライン）を作成することが必要だと思います。以前、マイタイムラインの作成支援のために、市民に分かり易いひな型を示してほしいと要望しましたが、その後の状況を伺います。

また、広島市では災害時において要配慮者の避難が大きな課題となっていることから、指定緊急避難所から福祉避難所への輸送や、災害状況や被害情報の収集などの協力をしていただくために、介護タクシー事業者と災害時協定を結ばれました。移動が困難な方にとっては初期避難の時点から必要とも考えられますが、浜田市でもこのような協定締結を行えないか伺います。

- ② 2月初旬の水道凍結により給水制限や断水となったことで、市民の皆様の生活に様々な影響を及ぼしました。このことに限らず、問題が発生した場合に行政内部の横の連携や民間との連携体制を明確化しておくことによって、迅速かつ柔軟な対応が図られると考えますが、今後の対応について伺います。

4. 各地域のまちづくりについて

(1) ふるさと体験村の再生について

- ① ふるさと体験村の再生については、平成30年9月休止以降、様々な検討や指定管理者の公募などが行われてきましたが、未だ打開策がありません。休止して2年半が経過しており、休止が長引けば長引くほど再開のハードルは高くなります。これまでは弥栄地域での活用ということで検討されてきたようですが、全市での活用策を議論することも必要だと思います。この施設の活用については福祉関係からの要望もあり、ぜひ広く柔軟に検討すべきと思いますが、ご所見を伺います。

(2) 三隅地域の取組について

- ① 三隅自治区においては、住民自治組織や福祉・介護施設が合同で防災訓練を行うことや、リハビリテーションカレッジと連携して介護予防に取組むとされています。これは全市で取組むことが大切だと考えますが、ご所見を伺います。

5. 健全な市政運営に向けた取組について

(1) 行財政改革について

- ① 中期財政計画には「不断の努力による行財政改革に取組む」との決意が一昨年同様、今回も示されております。とりわけ今回は新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響により、その対応事業の取組や税收減により、市政運営にも今後も大きな影響がでるものと想定されます。まさにこの先1年は「不断の努力による行財政改革」の必要性が大きくなっており、事務事業評価によるさらなる事業の削減や見直し、公共施設削減の実効性など早急な取組と併せて、外部委託の検討も必要と考えますが、ご所見を伺います。

(2) 指定管理者制度について

- ① 指定管理者制度については、これまでの事例などからも、より効率的で妥当性のある管理者選定のあり方や公平性や透明性など、今後さらなる制度の構築が求められていると思います。評価基準の変更など、早急にその手法について検討すべきと思いますが、ご所見を伺います。

(3) 予算措置について

- ① 理事者側が提案する事業については、追加の予算措置など自由度が大きいように思いますが、市民から出される素朴で少額な予算措置の要望などには、厳しい判断がなされていないか心配しております。市民から出される少額な予算措置については、公平性を図る中で、要望に沿うよう前向きに対応していただきたいと思います。ご所見を伺います。

6. 教育方針について

(1) 学校教育について

- ① 緊急時における家庭での学習のためにオンライン学習を行うには、各家庭への通信環境が必要ですが、すべての家庭でネット環境があるとは考えられません。昨年は浜田市でも新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の休校という事態が起こったことから、家庭の通信環境整備と、オンライン学習システムの導入が必要と考えます。

また、児童生徒の学びの充実や障がい等による学習上の困難を低減するためや、不登校の子どもに対する学習の機会確保にもつながると考えることから、デジタル教科書の導入も推進していただきたいと思います。ですが、ご所見を伺います。

- ② 新型コロナウイルス感染症の感染者や医療関係者等が誹謗・中傷を受け、その土地に住むことが困難になるなど、大きな問題が発生しています。そのため、個人が特定できないように最小限の情報しか提供されなくなり、新たな不安や憶測が飛び交うようになったことも事実です。今こそ相手の立場に立ったものの見方・感じ方が重要だと思います。このような状況下で学校ではどのような対応を行われたのか伺います。